

平成28年度(第18回)

中部アンダーハンディキャップゴルフ競技 三重地区予選

日 程：平成28年8月30日(火)

場 所：伊勢カントリークラブ

中部ゴルフ連盟

ロ ー カ ル ル ー ル

1. アウトオブバウンズ (規則27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭又は白線をもって標示する。
2. ウォーターハザード (ラテラル・ウォーターハザードを含む) (規則26)
ウォーターハザードは黄杭または黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
3. 修理地 (規則25-1)
修理地は青杭と白線をもって表示する。10番・11番ホールの修理地はプレー禁止の修理地とする。ここに球があつたり意図するスタンス、スイングの区域が障害となる場合は規則25-1bに従って救済を受けなければならない。ただし、次のものを含む。
(a) 張り芝の継ぎ目；付属規則I(A)3eを適用する。(ゴルフ規則164ページ参照)
スルーザグリーンの張り芝の継ぎ目(その芝自体を除く)は**修理地**とみなされる。しかしながら、継ぎ目がプレーヤーの**スタンス**の障害となっても、それ自体は規則25-1に基づく障害とはみなされない。球がその継ぎ目の中にあるか、触れている場合、またはその継ぎ目が意図するスイング区域の障害となる場合、規則25-1に基づいて救済を受けることができる。張り芝の区域内のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目とみなされる。**このローカルルールの違反の罰は、2打。**
(b) パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイントが球のライ、意図するスイング区域の障害となる場合、規則25-1bの救済を受けることができる。(スタンスは除く)
4. 動かさない障害物 (規則24-2)
(a) 排水溝
(b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
(c) 動かさない障害物と定義づけられている区域に近接し白線が引かれた区域は、修理地ではなく、その障害物の一部とみなす。
(d) 障害物によって囲まれた花壇はその障害物の一部である。
(e) コース内の防球ネットが動かさない障害物となる場合、その障害物の上を越えたり、中や下を通さずにニヤレストポイントを決めなければならない。**このローカルルールの違反の罰は2打。**
5. コースと不可分の部分
樹木保護のための巻物施設・巻網及び16番樹木に巻き付けられた配電盤は、コースと不可分の部分とする。
6. パッティンググリーン上の芝張り替え跡
パッティンググリーン上の芝張り替え跡は古いホールの埋め跡と同じステータス

を持ち、規則 16-1c に基づき修理することができる。

競 技 の 条 件

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則とこの競技のローカルルールを適用する。

2. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた資格要件を満たさなければならない。

3. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

4. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I (B) 1 a』を適用する。(ゴルフ規則 176 ページ参照)

5. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I (B) 1 b』を適用する。(ゴルフ規則 177 ページ参照)

6. プレーの中断と再開

(a) 通常のプレーの中断(落雷などの危険の伴わない気象状況)については、規則 6-8 b、c、d に従って処置すること。

(b) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間に行ったときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレー途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

(c) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレーの中断：短いサイレンを繰り返して通報する。

または、サイレンを使用せず本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

険悪な気象状況による即時中断：1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開：1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

7. 練習

ホールとホール間の練習禁止(規則 7 注 2)『付属規則 I (B) 5 b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)

ホールとホール間では、プレーヤーは最後にプレーをしたホールのパッティンググリーン上やその近くで練習ストロークをしてはならないし、球を転がすことによって最後にプレーしたホールのパッティンググリーン面をテストしてはならない。

この条件の違反の罰や処置は『付属規則 I (B) 5 b』を適用する。(ゴルフ規則 181 ページ参照)

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。**この条件の違反の罰や処置は『付属規則 I (B) 2』を適用する。(ゴルフ規則 179 ページ参照)**

9. スコアカードの提出 (裁定 6-6 c / 1)

スコアリングエリア方式を採用する。

10. タイの決定
タイの決定は該当する競技規定に定めるか、委員会によってゴルフコースで公表される。
11. ゴルフシューズ
正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。**この条件の違反の罰は競技失格とする。**
12. 競技終了時点
本競技は、競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。
13. 競技の成立
本競技の参加者全員が正規ラウンドを終了できなかった場合、委員会は競技成立について別途定めるものとする。

注 意 事 項

1. ローカルルールや競技の条件に追加、変更のあるときは、スターティングホールのティーインググラウンド付近に告示する。
2. 競技の条件 1 1 項で規制されるシューズ以外にもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
3. 予備グリーンは定義上「目的外のパッティンググリーン」であり、球が目的外のパッティンググリーン上にある場合、プレーヤーは規則 2 5 - 3 に基づいて救済を受けなければならない。
4. プレーの進行に留意し、先行組との間隔を不当にあけないよう注意のこと。プレーを不当に遅らせた場合は、ペナルティを課す。
5. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
6. 練習は指定練習場にて行い、打ち放し練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 人 1 コイン(20 球)を限度とする。
7. ティーマーカーは、男子白色・女子赤色とする。
8. プレー中、帽子(バイザー可)を着用すること。
9. 中部ゴルフ連盟ならびに会場クラブの服装規定を遵守すること。**服装規定に違反があった場合、初回は注意し、着替えてもらうことが望ましい。改まらない場合、競技委員会は競技中を含めいつでも競技者の参加資格を取り消すことができる。**
10. コース内は、携帯電話の使用をしないこと。

- 追 記
1. ハウス食堂(朝食)は、午前 6 時 3 0 分よりオープン。
 2. 練習場は、午前 6 時 3 0 分よりオープン。
 3. 昼食はハウス食堂およびコース売店を利用のこと。
 4. バッグは口径 9. 5 インチ、重量は 1 3 キロを超えないこと。

競技委員長 内 田 淳 二

指 定 練 習 日

8 月 2 3 日(火)・2 4 日(水)・2 9 日(月)のうち 2 日間は連盟料金(会場倶楽部会員並扱い)とする。ただし、2 9 日(月)は午後 3 時までにはプレーを終わること。指定練習のスタート時間は前もって 伊勢カントリークラブに申し込み予約すること。

TEL 0 5 9 6 - 5 8 - 4 1 4 1